



二〇〇八年新年を迎え

あけましておめでとーございます

理事長 五島瑛智子



鶴風会も皆様方からの多くのご支援をいただきながら、新しい年を迎えることができました。法人、施設ともども力を合わせて一層の精励の誓いをあらたにしております。本事業に関わって下さったすべての方々にあらためて感謝を捧げ、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げますと共に本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

No.16 (平成19年)  
 社会福祉法人 鶴風会  
 東京小児療育病院  
 東みどり愛育園  
 西多摩療育支援センター  
 後援会  
 一連絡先  
 東京都武蔵村山市学園4-10-1  
 電話 042(561)2521(代表) 〒208-0011  
 東京小児療育病院内  
 Eメール tcrh@kakufuh.com

理念

私達は  
**障害児者の生命機能の維持  
 向上と生活援助のため誠実に  
 積極的に取り組む障害児者と  
 その家族を支援します**

「はぐくむ」と親子鶴



私共の施設のシンボルマークは親子鶴を図案化しています。これは開設の理念を表すと共に、創立の主体となった帝国女子

子医専(現東邦大学医学部)の同窓会が、社団法人鶴風会であったことに由来します。昭和の初め、東邦大学の前身、帝国女子医専が創立された大森の地は、海に近い沼地で、葦が生え、鶴の群が飛来していたため、鶴渡りという地名で呼ばれていました。今も大病院の裏手に「鶴渡り公園」という小さな公園が子供達の遊び場になっています。渡り鳥である鶴の群の羽ばたきから、「鶴風会」という同窓会名がつけられ、鶴風会の有志が出資し、募金して本施設が昭和三十三年に開設されました。そして社会福祉法人としての本法人も「鶴風会」となりました。

広報誌「はぐくむ」も当初は「鶴風」

10頁	「はぐくむ」と親子鶴
9頁	東京小児療育病院に帰って 日本女医会「再就業支援研修」
8頁	オルフェの会 バザー終了報告
7頁	重心施設職員交流野球大会
6頁	西多摩センター祭 地域交流室作品展
5頁	ボランティアだより 中高生の看護体験
4頁	看護宿舎・託児施設リニューアル
3頁	後援会だより
2頁	ご寄付者名簿

として発行してきましたが、平成十三年から誌名を「はぐくむ」とし、今回第十号となります。

「はぐくむ」は漢字では「育む」と書くのが一般的です。しかしその原義は「羽包む」という字のように、羽で包むことを表しています。

「はぐくむ」という言葉には、繁殖させる・成長させる・育てる・育成するなどの他に、かばい守る・いつくしむという意味があります。しかし漢字で育むと書くと、育てるの意味が強く、かばい守る・いつくしむという意味は薄れるように思えます。

「はぐくむ」という言葉にはじめて出会ったのは学生時代 万葉集の遣唐使の母の歌でした。

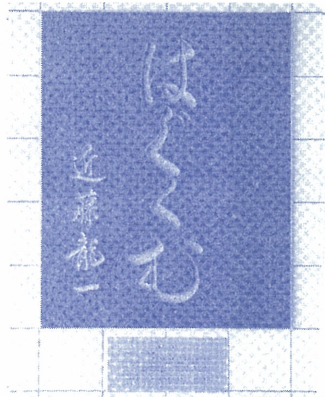
旅人の 宿りせむ野に 霜降らば  
 我が子はぐくめ 天の鶴群

遣唐使の母が、当時は生還さえおぼつかない、唐への旅に出たわが子を想って、空を行く鶴の群に、わが子をその羽で包んで寒さから守って欲しいと願ったのです。ここでは「育む」より「羽包む」の



方が適切でしょう。  
「はぐくむ」は施設の理念と創立時のシンボルマークと共通のキーワードでもあります。

近頃は「育む」も「羽包む」も放棄して我が子を捨てたり、殺したりする親も度々ニュースになっています。愛をこめて抱きしめることができない人達が増えているのは悲しいことです。人間に羽はなくても両手と胸で温かく「ハグ」(HUG・抱擁する)して、子供達に「はぐくむ」の心を伝えて欲しいと思うのです。



当院玄関に掲げる

故近藤龍一書(元東京都副知事)

### 二年ぶりに東京小児療育病院に帰って

医師 椎木 俊秀



私は七年前から五年間こちらでお世話になり、その後約二年間、都立東部療育センターの立ち上げに参加しました。今回二年ぶりの復帰となりますが、鶴風会が理念として掲げそして実際に行ってきた、障害のある方やその家族の方の支援をさらに発展させるために微力ながらお役に立てればと思っています。

医療・福祉を取り巻く情勢は年々厳しさを増しています。来年四月には診療報酬改定が予定されていますが、このままでは施設経営ができなくなる、そうでなくとも非常に苦しくなるという状況のもと、重症心身障害児施設、肢体不自由児施設が一丸となって厚生労働省に要望を出し運動を始めています。当院としてもいかなる事態になっても今後の施設の運営をどうして行くかはきわめて重要な問題です。

どこの病院も看護師不足が深刻です。しかし、そのような状況で他の施設が例えば短期入所などを極端に制限している中で、東京小児療育病院と西多摩療育支援センターは懸命の努力を続け、サービ

スの維持に奮闘しています。利用者の方に最善を尽くす姿勢は過去も現在も変わらないと自負しています。職員はたいへんですが、鶴風会のよき伝統であり多くの方からご支援いただいている理由だと思います。それができたのも施設をあげての取り組み、そしてそれを支えてくださる多くの方々のご支援のおかげだと感謝申し上げます。

まだまだ不十分な点は多々ありますが、多くの利用者の方や家族の方から頼りにされている施設です。意見・要望・苦言など率直に出していただき、よりよい療育的支援ができるよう職員とともに奮闘していきたいと思っています。



私を含め他施設を手伝った後の出戻り組の多い病院ですが、それだけ魅力もあるのだと思います。その魅力がさらに大きくなり職員が働きやすくなり、利用者の方々にももっと充実したサービスが提供でき、相談しやすく、安心してかかれる施設としてさらに発展していけるよう、できるかぎりかんばりたいと思います。今後ともご支援の程よろしく願っています。

### 日本女医会東京支部連合会 中山年子会長より贈呈される

平成十九年十一月十日(出)、日本女医会東京支部連合会の総会が開かれ、そこで鶴風会の事業に対し、寄付金が贈呈されました。社会福祉事業として東京女子医大の卒業生が運営している保育園事業の二施設へのご支援は継続しており、私共へのご援助も毎年秋の総会時にご寄付を賜っております。

今年もホテルニューオータニで中山年子会長から直接頂戴いたしました。長年にわたるご支援に心から感謝いたします。



五島瑳智子理事長  
～ ホテルニューオータニにて～

中山年子会長  
2009. 11. 10





## 看護部より

### 東京都初「再就業支援研修」を開催しました

東京小児療育病院が、東京都で最初の「看護職員地域就業支援病院」に指定されました。

第一回目は七月五日にI型、一日コースの研修を実施しました。二十代から五十代の看護師十名、准看護師一名、計十一名の参加でした。午前中は、オリエンテーションと、東京都から任命された当院の支援病院協力員が「最近の医療、看護の動向」について、講演しました。午後は西一病棟看護主任、深澤保子が「採血・静脈注射」について医療安全研修の一環として実習を交えて講演しました。二十年以上も臨床から離れている参加者にはアルコール綿の使用方法から指導しました。参加者はいずれも意欲が高く、繰り返し練習をして、質問も途切れる事もなく一時間の予定を急遽調整し、二時間に延長して対応しました。その後、東京都看護協会から派遣された本部協力員が就業相談を実施しました。十一名中、五名は技術の習得に不安が残ると、二回目の研修を申し込みました。五名はゆつくりと就業を検討しており、一名が直に就業を希望され、七月中に入職されました。現在は常勤で病棟勤務しています。



二回目の研修はIII型、七日間コースで、当院の恵まれた福利厚生施設、二十四時間院内託児室、学童保育をPRするため夏休み期間中、八月一日から八月九日の土・日曜日を除く、七日間で開催しました。申込者は十二名。年齢は二十代から五十代、看護師十一名、准看護師一名の申し込みがありました。零歳から四歳まで六人の託児室体験も含まれておりました。

今回は、三日間の実技研修と三日間の病棟実習があるため、深澤保子をリーダーに、西二病棟看護師、有我真由子、東一病棟看護師、山村智子、東二病棟看護師、森裕直美の四名を選出し、再就業支援研修の準備をしました。一回目の研修経験を活かして、わかりやすく説明し、視覚的に理解できるように教材を工夫しました。実習中は両手を使用できるように、本にあるような資料は使用せずに、手順に沿った写真をパネルに作成し掲示しました。実習中に何度も確認が可能で、個々のペースで学ぶことができると好評でした。見学にいらした、東京都看護協会の小川理事からは、「相手の立場に立った日常のケアのあり方が、受講生の立場に立ったわかりやすい手作りパネルの指導方法に生きている。」と褒めていただきました。二回目の研修後も、一名常勤採用することができました。

実は、二回目の研修前に四名がキャンセルしていました。「就労の準備に、家族の理解が得られなかった。」という理由です。平成の世になっても「男性は外で働き、女性は家に居て家庭を守る」という日本人の価値観が、未だに根付いている事を知りました。少子高齢社会を向えて、労働人口の減少が懸念されている中、二〇〇六年看護職員の需要数は百三十一万人、就業者数は百二十九万人、潜在看護職はおよそ五十五万人と推測されています。看護師が不足しているのではなく、看護職の就業率が低下しているこ

とが、現代の看護師不足の問題といわれております。潜在看護師を発掘し、就業に繋げることが本研修の狙いです。日本人の価値観、個人の生活観を尊重し、ワーク・ライフ・バランスを考慮した、人材管理システムの構築が今後の看護職員確保対策に求められています。今事業の体験と情報は今後の東京小児療育病院のための人材管理システムを構築するための貴重な財産になる意義ある事業と考えております。

三回目の研修は、平成二十年一月二十三日から、七日間三十一日までを予定しています。ご協力よろしく願います。

看護副部長 八代 博子





# チャリティコンサート オルフェの会



来賓・伊藤元博(東邦大学理事長)

品川御殿山も最後の錦秋に染まった十二月最初の日曜日にグランドプリンスホテル新高輪にて平成十九年度のオルフェの会チャリティコンサート行われました。当日は二百四十四名の方々が、遠くは名古屋からもお越し頂きました。

桑原後援会長のご挨拶のあと、伊藤東邦大学理事長に来賓挨拶を頂き、龍倫之助先生の乾杯の音頭でコンサートは開宴しました。フロア後方には当施設の紹介を写真パネルで展示するコーナーを設け、椎木施設長のビデオと共に施設の紹介をいたしました。ティーサービスの後、チャリティコンサートが始まりました。

本年は「ロシア歌曲の真実に出会う」というテーマで日本屈指のバス歌手である岸本力氏を中心にプログラムのよう進行し、冬の凍てついた大河や、シベリアの白樺林に想いをはせることができ、ロシア歌曲の一端を堪能することができました。最後には、出演者、参加者全員で「ともしび」を合唱し、盛況の内に本年度のコンサートは閉会しました。



施設の写真展

- チャリティコンサートプログラム  
「ロシア歌曲の真実に出会う」  
//冬のロシア 心の旅//
- |                   |             |        |       |
|-------------------|-------------|--------|-------|
| ① ステンカ・ラージン       | ナビゲーター      | 林      | ロシア民謡 |
| ② 行商人             |             |        | ロシア民謡 |
| ③ 赤いサラファン         | A・ワルラーモフ作曲  |        | ロシア民謡 |
| ④ ウラルのぐみの木        |             | ソビエト歌謡 |       |
| ⑤ トロイカ            |             | ロシア民謡  |       |
| ⑥ ヴォルガの舟歌         |             | ロシア民謡  |       |
| ⑦ カチュエーシヤ         | M・イサコフスキー作詞 |        | ロシア民謡 |
|                   | M・ブランテル作曲   |        |       |
| ⑧ 鶴               | R・ガムザートフ作詞  |        | ロシア民謡 |
|                   | Ya・フレンケリ作曲  |        |       |
| ⑨ なぜ私は貴方を知ったのでしょう |             | ロシア民謡  |       |
| ⑩ ヴォカリーズ          | C・ラフマニノフ作曲  |        |       |
| ⑪ 悲しき天使           | K・ポドレフスキー作詞 |        |       |
|                   | B・フォーミン作曲   |        |       |
| ⑫ 二つのギター          | A・グリゴリーエフ作詞 |        |       |
|                   | E・グレビョンカ作詞  |        |       |
| ⑬ 黒い瞳             |             | ロシア民謡  |       |
| ⑭ 小さいグミの木         |             | ロシア民謡  |       |

## バザー終了報告

先般、施設全面改築借入金の返済と新たな療育機器の充実を目的としたバザーを計画しご協力をお願い申し上げましたところ早速にお品物の御寄贈を賜りましたことを心から厚く御礼申し上げます。お陰様で、多くの皆様からの御協賛をいただき十月二十八日にバザーを開催いたしました。

当日は前日までの台風による悪天候からうつつかわつて朝からの晴天になり、多数のお客様にお越しいただき盛会のうちには終了することができました。

ご寄付を合わせ六百万円を超える収益となりました。経済情勢の厳しいなか、ご支援賜りました皆様に深く感謝申し上げます。この収益金は、当初の目的にそって借入金の返済等に充てさせていただくことといたしましたので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

バザー委員会

### チャリティバザー 御寄付者・御寄贈者

#### 個人 五十音順

青木 郁子・青瀨 幸恵・秋元千栄子  
秋本 浩代・浅見 薫子・阿部美代子  
荒畑 仲春・飯島 靖・池之谷洋司  
石井久仁子・石井 正行・石井 義男

石川 軍司・石川てる代・石田みどり  
石田 美幸・石原 良子・石丸 正平  
板橋 保・市川 雅俊・伊東 明美  
伊藤 一成・伊藤 治男・稲垣 弘子  
稲葉 享子・井上 和子・今井 久吾  
岩淵留美子・岩本 敦子・鶴川美登里  
白井 潔子・宇田 陽子・内野 厚子  
内山 弘子・宇都宮真利・江田 千里  
榎本 一三・榎本 茂夫・榎本みつ枝  
榎本 義子・海老根伊佐子・海老原健介  
海老原明次・及川 貞・大江 容子  
大川由美子・大里 静子・大島 節子  
太田 百代・大谷 友則・大谷 達之  
大館 清・大塚 いく・大貫 茂雄  
大橋 伸夫・大場 吉延・岡野 兼大  
岡松 眞二・小川 昭子・小川 慶子  
荻野とし子・奥井 和子・奥井 和子  
奥住 勝治・奥田 輝雄・小野澤美枝子  
小野寺昭子・笠原喜久江・粕谷 哲  
粕谷 洋子・勝又登美雄・加藤 茂  
加藤奈津子・加藤 裕・上岡 謙夫  
神谷 節子・鴨池 明美・狩野 三郎  
川口 照代・川口 信夫・川田 泰寛  
河野 歌穂・河原 淳子・神田 明  
木内 知子・菊地 一江・菊池 順子  
菊地 智子・絹笠 哲夫・木村 拓郎  
窪田 綾子・栗原 寿枝・小池 末男  
小泉 久幸・甲原 貢・児島 晃  
小嶋 肇・コネリー乃里子・小林 澄夫  
小林 友美・小林のり子・小松 弘  
後藤 清美・斉藤 眞・斉藤やすお  
坂井 順子・桜 井 佐々木浩子  
佐藤 宣・佐藤 健司・佐藤 小澄



- 佐藤 貞雄・佐分利夏子・茂野 幸子  
 篠 昌治・渋谷 由紀・島田 敏雄  
 島野富士子・清水 良子・白石 俊雄  
 新藤 あや・鈴木 正敬・鈴木 英司  
 鈴木 美帆・鈴木 峰子・鈴木三代子  
 鈴木 善宣・隅山 恵子・清 咲子  
 関根 正治・瀬端 早千・曾山 紀子  
 高木 一行・高橋百合子・高橋千代美  
 高橋 利春・高橋とよ子・高森 久子  
 田賀真知子・竹中玖美子・竹中 廣夫  
 竹鼻 恵子・田項家幸子・田代 勝三  
 立川 裕子・田中ちあき・田中 寿代  
 谷 正志・谷垣 明・田村 小織  
 田村 和子・田村カネ子・茅根 理恵  
 塚崎 佳子・土屋 繁夫・角田 啓吉  
 角田 孝子・寺本 純子・中里 厚  
 中里 茂・中里 宗樹・中里龍太郎  
 中谷 祥宏・中村 圓平・中村 恒子  
 長崎 晶子・長嶋 啓子・長田 栄子  
 長田 実・西原 憲二・西堀 清六  
 二島 里子・西村 健一・西村 梨沙  
 二村恵美子・根岸 靖子・軒原 喜代  
 野口 久子・野沢 良美・野見山捷昭  
 野村 武弘・橋詰 美佐・長谷川あつ子  
 波多野利昭・浜野 雅壮・早川 芳江  
 林 明子・早瀬川 昌・原 迪子  
 原田 恭子・久松クニ子・久松 久美  
 久松 孝久・久松 大紀・平井 祐太  
 平岩扶美子・比留間富子・比留間信行  
 古川 竜男・堀内 明子・前谷 容  
 増田 英男・松岡 秀夫・松崎 恵史  
 松本 誓子・松山 典子・真鍋 翔子  
 三浦 栄一・三木 延義・宮本 みち

- 村川 杏奈・村田 幹子・村中 達夫  
 面田 眞和・望月 規・本明 寛  
 森 義國・守田 洋・森田 英雄  
 森田 桂子・守田 正三・山岸 梅子  
 山崎あけみ・山下 展男・山田 稔子  
 山田 金造・山本 公市・吉川 芳登  
 鷺頭かのん・渡辺 安臣・渡辺 秀光  
 渡辺 實子・和知かおる



会場前に数百人の列ができました。

企業・団体

- （有）新井クリーニング商会・（株）アペックス  
 アリアケジャパン（株）・あゆみ保健事務所  
 伊東胃腸科クリニック・石塚硝子（株）・一  
 富士ケータリング（株）・（株）一富士・（株）エク  
 セル・サービス・オオサキメディアカル（株）  
 神奈川営業所・オムロン（株） 東京支部・

- 奥森電気管理事務所・カネヨ石鹸（株） 埼  
 玉工場・かどや製油（株）・柏木（株）・（株）木内  
 書店・キーコーヒー（株） 所沢営業所・栗  
 原医療器械店・（株）クリニコ・（株）グリーン  
 プラネット・財団法人 献血供給事業団  
 コニシ（株）・国際ソロプチミスト東京一藝  
 ・国立厨房サービス（株）・古久根建設（株）  
 多摩営業所・（有）コズグロジャパン・サン  
 ヨー食品販売（株）・（有）清水商店・シルバー  
 メッキ工業（株）・宗教法人 真如苑・太洋  
 紙業（株）・（株）タチケミ・多摩信用金庫・（株）  
 タカラトミー・大王製紙（株）・多摩ヤクル  
 ト販売・武村青果店・（株）太陽モップ・（有）  
 タケナカ・（有）地球堂・（株）ソムラ 静岡営  
 業所・ツムラライフサイエンス（株）・（株）東  
 京洗染機械製作所・（有）トラストデンタル  
 ・東京コカ・コーラ・（株）東京洗染器械製  
 作所・東和防災工業（株）・中里医院・ナガ  
 イの白衣 立川出張所・日新製糖（株）・（株）  
 日栄東海・日新製糖（株）・日本パルプテッ  
 クス（株）・（株）日清製粉グループ本社・ニュ  
 ートリー（株）・ハウスウエルネスフーズ（株）  
 ・（株）フジミ・不二薬品（株）・富士リネンサ  
 プライ（株）・ヘルシーフード（株）・薫民族舞  
 踊文化財団・宮田歯科医院・御幸印刷（株）  
 ・むさしの住宅自治会・明治製菓（株）・森  
 永乳業（株） 東京多摩工業・（有）森永牛乳  
 小平販売所・（株）ヤマダ・（株）ユニカフェ・  
 ユニカフェ・吉本商事（株）・（株）リンレイ・  
 和光堂（株）

野球大会準優勝！

十一月十六日（金）都立清瀬グラウンドにて、東京都内の重症心身障害児（者）施設職員交流野球大会が開催されました。前回の雪辱を晴らすべく、「優勝するぞー」を合い言葉に、一年の間、練習や練習試合を重ね、職員間の絆を深め大会に臨みました。各職場から駆けつけた応援団からの声援に勢いづいた鶴風会チームは準優勝することができました。

大会終了後、秋津療育園のご厚意で、懇親会をしていただきました。他施設の職員の方との交友を深める貴重な時間を過ごすことができました。また、この大会へ参加するために多くの方からご支援を頂きました。有り難うございました。  
 ※ホームページもぜひご覧下さい。

http://www.ilz.jp/hp/kakufu/index.html  
 総務部 佐藤朋己 記



大活躍のわれらのピッチャー（看護師）



# 西多摩療育支援センター

## 第四回センター祭が無事終了しました

センター長 鶴岡 広

平成十九年、例年通りの異常気象なのか。夏が長く、九月の下旬でも三十度を越す真夏日や夏日が続いた。「いつになったら秋になるのか」と思っていた十月中旬、桜の葉も色が変わり始め、秋らしくなった十月十四日に第四回目となる西多摩療育支援センターのセンター祭を実施しました。

澄み渡った空の下、今回初めて参加していた地元の秋留台高校和太鼓部の皆様の迫力ある音と共に祭りが始まり、毎回参加していただいている昭島ウインドオーケストラのやさしい演奏で楽しい時間を閉じました。その他、たくさんボランティアにいらしてくださった皆様のお陰で、こちらの利用者の方にも、またお客様にも大変喜ばれ、模擬店も完売と大成功でした。本当にありがとうございました。

地域の方々とこれからもふれあう機会を作っていけたらと思っております。どうぞお力添えを今後ともよろしくお願ひ致します。



## 「地域交流室作品展」

前回に引き続き、第二回目となる「地域交流室作品展」を去る平成十九年九月三日（月）から七日（金）の五日間開催いたしました。近隣福祉施設に参加を呼びかけ、地域との交流と地域交流室の活用促進を目的に、各施設の自主製作品などの作品を展示しました。参加施設を紹介すると、「希望の家」、「こすもす作業所」、「日の出福祉園」、「ひばり訓練作業所」、「ユートピアサンホーム」、「山の子の家」、および西多摩療育支援センターの「楽」と「もえぎ」など、あきる野市や日の出町の施設ばかりでした。各施設とも、展示に工夫を凝らしており、利用者の皆さんが宣伝のために訪れるなどして、活気のある地域交流室での五日間でした。



それぞれの施設の職員や利用者の方からは、こうした機会があると日ごろの作業や活動に張りが出るので、今後もぜひ続けて欲しいとの声もきかれました。

「楽」柳瀬達夫 記



# ボランディアだより

## 平成十九年度ボランティア講座修了

六月九日より始まった本年度のボランティア講座も、全六回が無事終了し、十一月二十四日に修了式が行われました。当日は九名の受講者が出席しそれぞれ修了証を授与されました。

車椅子の操作方法から始まって、利用者とのコミュニケーション方法や、食事介助、みどり祭りへの参加など、盛りだくさんの内容でしたが、修了式の後の懇親会では、なにかをつかんで今後のボランティア活動に役立てたいと感想を述べていました。



## 中・高生の1日看護体験

通園 看護師 長田幸枝

晴天の七月、瞳を輝かせた五人の女子高校生が、輝く白衣に身を包み、通園の扉をくぐりました。緊張した表情で利用者の方々に挨拶をし、通園係長から真摯な態度で説明を受けていました。

看護師体験といっても医療的ケアに参加できるわけではありません。「利用者の方々の笑顔を守ることも、看護師の大事な仕事です。皆さんにたくさん笑顔を見せて、お話をして下さい」看護師からの説明に大きく頷いていました。

通園青年部では、グループ活動に参加し、利用者さんの手をとっての製作や、ビニールプールでの水遊び援助を行ない、若く弾けるような笑顔に利用者の方々も満面の笑みを返していました。帰りの会では利用者の方から「合格」の印の押しあてられたプレゼントされ、激励と感謝を受けていました。

利用者のお母様から現在に至るまでの経緯をお話して頂いた場面では、ともに涙を浮かべ、家族の努力に感動してくれたと思います。送迎のバスを見送り大きく手を振っている姿から、何かを掴むことができたのではと感じています。将来の希望はほとんどが小児科の看護師になりたいということです。ぜひ看護学校に合格をし、将来の看護の一翼を担って頂きたいと思えます。

西二病棟 看護師 斉木篤信

七月二十六日、中学生・高校生が一日看護体験に参加してくれました。病棟を案内した後、何名かの利用者さんたちとのふれあいを通して、聴診器を使って胸の音を聴いてみたり、自分の胸の音と比較してみたりという、看護体験をしてもらいました。その後、意見交換の中で看護師になろうと決めたわけではないけれど、興味をもてたという感想をいただきました。また、看護体験というだけでも女子学生のイメージが強かったにもかかわらず、今回は8名中5名が男子学生ということに驚きました。そして何よりも、若い学生さんたちが障害を持つ方達に関心を持ち、ふれあいたいという気持ちがあることをうれしく思いました。

このような関わりを通じて、看護を若い学生さんたちに知って欲しいと思えます。





## CDラジカセの寄贈

社団法人 東京馬主協会よりCDラジカセとクリスマスマスのCDセットが3台当会に寄贈されました。早速、各病棟にクリスマスマスの音楽が流れて、利用者も大喜びです。

社団法人 東京馬主協会会長北野俊雄様、福祉委員長の齋藤敏博様から「子ども達の夢が叶えられますように」という素敵なメッセージカードも同封されてきました。

総務部 高野 雅明 記



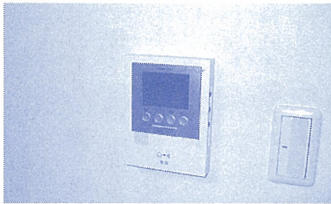
## 桜陰学園生徒会より

昨秋、学校法人私立桜陰学園の生徒会から本施設に役立てて欲しいというお手紙と共に学園祭のバザーによる収益金を、ご寄贈いただきました。

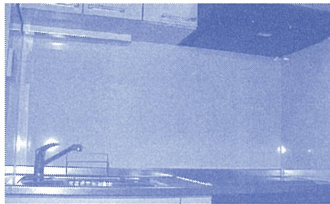
# 看護宿舎・保育施設リニューアル

## 看護宿舎

1LDK(リビング15畳)



安全のためのモニター付インターホン



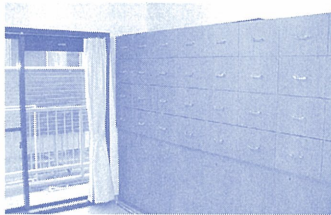
キッチン(電磁調理器付)



洗面化粧台(シャワー付)

## 院内保育室(職員用)

24時間保育



ロッカールーム



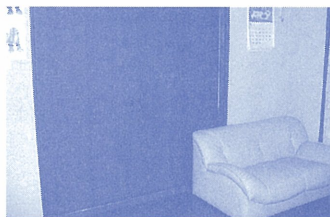
子供用トイレ



プレイルーム

## 院内学童保育室(職員用)

8時30分~20時



談話コーナー



プレイルーム

## 教育支援室

発達障害児の教育支援



玄関(スライドドア)



パソコンルーム

皆様のご協力を賜り、12月中旬に看護宿舎・保育施設の改修工事が終了いたしましたので報告いたします。ありがとうございました。





## 社会福祉法人 鶴風会 後援会だより

### 見えない糸

#### ～五島先生と私と鶴風会～

福田清雅堂眼科医院長

福田 静子

### 出逢い

社会福祉法人鶴風会理事長五島瑳智子先生と私の接点は、十三歳の少女期から始まる。桜陰高女（現桜陰学園）一年梅組で教室を共にし、そこから七十年近い現在に至るまで私たちの間に目に見えない糸が常に存在していた。

昭和十五年、入学後まもなく太平洋戦争が始まり、空襲、学校工場での軍靴作り、亀戸の鐘紡紡績工場への学徒動員では、空襲のサイレンを気にしながら懸命に海軍の軍服地を織った。物資の不足は明らかで、その生地も原料の糸も、日毎に粗悪になっていく悲しさ。その工場も昭和二十年三月十日未明（九日夜半）の大空襲で約十万人の死者を出した。江東地区は焼け野原となり、動員先を失った四月近くになってようやく全員が揃わないまま臨時の卒業式、彼女の壇上で響いた歌声の美しさ、そして切なさ。その日、東大構内を通り抜けて家に戻る途中、満開の桜が目にとびこんだ。黒々と焼けた周囲の風景の中で、それは不思議に鮮や

かな光景で、今も忘れることができない。

### 医学生として

友人もちりぢりになり、終戦となった。私たちの糸が一時途切れたかと思えたが、東邦女子医専で再会、卒業、東京通信病院ではインターン生活を共にした。当時白亜の病院の建物は岸田国土作・高峰三枝子主演で映画化された「暖流」の舞台となったほど、抜群に美しかった。当直の夜、前庭の木の下、一面芝生の丘に寝ころび、その頃の東京はまだ満天の星がきらめくのを眺めながら「人生は苦しくても楽しくても一刻も止まってはくれないものよ」と言った彼女の言葉が、その後の私の生活の中で何度通り過ぎたことか。

### 卒業から今まで

そしてお互いに医業の道を歩みつつ時に近く、時に遠くにあつて、それぞれ結婚、出産、子供の成長を支えながら歩み続けた七十年余りの歳月。私には重症身体障害の子を授かったが、五年の年月の中で、わが家族に喜びと悲しみを与えつつ、短い生涯を終えた。そしてそのことは、私が鶴風会の仕事に近づく心を持つことができた一因になった。彼女と幼き日の偶然の出逢いから現在に至る交流には、ある種の運命的なものを感じている。

彼女は医師として、医学研究者の道を進むと共に医学教育にも携わり、私は開業医の道を選んだ。主人が彼女と同じく医学研究者であり医学教育に関わっていて琉球大学に単身赴任することになり、私は十五年の間、東京と沖繩を渡り鳥のように往復していた時、彼女が感染症の講演のため来沖された。公演後、沖繩の案内役を私がかつて出て、二人で歴史ある沖繩の美しさを求めて歩き廻り、その時の彼女の提案で、女子医専昭和二十五年卒のクラス会「きらら会」を沖繩の地で開催することになった。

沖繩本島と石垣島をクラスメイトと共に過ごした三日間、これは主人の赴任中の忘れられない楽しいイベントの一つとなった。主人も一昨年世を去り、まさに蓮如上人の「朝には紅顔ありて、夕には白骨となる」の教え通り、この世の人生の長さ、短さ、一期一会の尊さを、しみじみと身に沁みる時を迎えている。

昭和三十九年に東邦大学の先輩方が創設した鶴風会の尊い仕事に従事されている彼女をはじめ関係の皆様深く感謝し、微力ながらお役に立ちたいと思う心切である。

### 後援会の皆様へ

新年おめでとうございます。日頃より本事業にご理解とご支援を賜り、感謝いたします。皆様のご協力により昨年度のパザーおよびチャリティコンサートも無事に終了いたしました。後援会からのご援助は老朽化している建物の整備や、災害時対策費用などに充たさせていただき、有意義に使わせていただきます。

障害者自立支援法は、自立できない重症児・者には経済的にマイナスで、障害児・者施設の運営はどことも苦しくなるばかりです。政府の無駄遣いや不正な使い込み、贈賄の金額の百万分の一でも弱者の救済に使うことができたという思いがいたします。

慢性的な看護師不足で、本施設も十対一の人員確保に四苦八苦しております。この事につきましても皆様からの情報を含むご支援を切にお願い申し上げます。昨年ようやく老朽化した看護宿舎及び託児施設を大改造することができました。皆様方のお力添えに感謝いたします。

社会福祉法人 鶴風会

東京小児療育病院

みどり療育園

西多摩療育支援センター

1 0 4 5 0



鶴風会後援会へご寄付者ご芳名  
平成十九年五月〜平成十九年十一月  
252名(五十音順・敬称略)

青木 継稔・浅川 恭行・浅見 薫子  
朝山 浩行・足高 毅・足立 嘉子  
新井 京子・有村 章・安土 達夫  
五十嵐いづ子・五十嵐良典・池田喜久子  
井澤 正博・石井久仁子・石北 寿子  
石田 哲朗・石田永美子・石田 秀子  
石田 友希・伊丹千寿子・伊藤 圭子  
伊藤 薫子・伊藤 文子・稲垣 登稔  
井上 昌光・井上 瑞穂・井上 康子  
猪俣賢一郎・今井まつ江・岩瀬 七重  
上野 洋子・鶴川美登里・臼井 瞳  
臼井 潔子・宇多 陽子・内 孝  
内ヶ崎仁子・畝本 昌介・畝本 恭子  
梅澤 重一・梅澤美和子・梅田 正法  
梅田 嘉明・江口 環禧・荏原 寿枝  
荏原 光夫・海老根東雄・大久保 泰  
大久保陽一郎・大竹 喬二・大塚 トシ  
大野 光洋・大脇 照枝・岡田 研吉  
岡田さと子・岡松 眞幸・小川 昭子  
小澤 一男・小山田妙子  
桜蔭学園同窓会晁桜会・柿添 瓊子  
柁原 宏久・鹿島田忠史・勝田三枝子  
加藤 葉子・金森 勝士・金親 正敏  
金子 晴生・金子 康子・釜范 登志  
神谷 英治・狩野登志子・河津 緑  
木内 徹子・菊池 信彦・菊池 洋子

北野千賀子・北矢 進・楠 后代  
久保 博・久保 修一・黒瀧 俊彰  
桑原 耕三・小泉 蓉子・古久根建設(株)  
小林 一雄・小林登喜子・小林久美子  
小林 静江・小林純一郎・珈琲茶羅  
西條 公勝・斎藤 英子・斎藤 欽子  
斉藤八重子・先山 隆司・笹島きよ子  
佐藤 幸子・佐藤 重雄・佐藤 芳子  
澤井 寛人・澤田 歌子・三登 和代  
塩野 則次・志鳥眞理子・篠原 洋子  
柴 忠明・柴 迪子・島田由美子  
正田 瑞穂・正田 嘉子・白井 貞子  
末吉 実子・杉本 寛子・杉山 卓哉  
杉山 尚子・鈴木 雍人・鈴木 峰子  
関島 英子・泉水 昇・相馬 直子  
高井 誠・高槻 義夫・高橋比路美  
高橋 正子・竹下 寿子・宗産婦人科病院  
竹下 直樹・竹下 文雄・武田 朋子  
竹中希久夫・竹中 美智・竹中由希天  
立原 芳子・田中 園子・田中 リナ  
谷 絹子・田部 秀山・塚越 実  
塚本 佳子・月花 亮・月本 一郎  
月本 伸子・土屋 英子・堤 俊一郎  
壺阪比路里・鶴岡 美果・鶴岡 康子  
栃久保哲男・長岡 貞雄・中川 雅明  
中里 良・中里恵美子・中里 純子  
長沢 実佳・中谷 尚登・長野 啓子  
中野 英之・長野 文子・中村 豪  
中村 豊・仲村 健一・中村志津子  
中村みゆき・中山 茂樹・中山眞理子

並木 温・成毛 典子・西沢 憲司  
西平 守夫・西宮 常代・二宮 文乃  
二瓶 浩一・根本 勤・野口 道子  
野沢 良美・能登 安代・橋口 玲子  
橋詰 美佐・畑 靖子  
八王子建物管理(株)・花岡嘉奈子  
羽生 修・早川 浩市・早原 千鶴  
原 孝・原 まどか・原田 裕  
原田 美子・原田千鶴子・原山 国秀  
菱沼 愛子・日根野妙子・平田 満  
平野敬八郎・平野 陽子・福田 美枝  
藤井 京子・藤田ひろ子・藤田ルリ子  
藤野 隆子・二島 里子・(株)フジミ  
星 北斗・本間 義章・牧野 アツ  
正林 婦美・増田登志子・松岡 昌子  
松原 龍弘・松本 誓子・松山 文夫  
丸山 和子・丸山 征爾・丸山希美子  
水落 笙子・水野 惇子・水野久美子  
水吉 秀男・宮川千鶴子・三宅 三  
宮崎 和・宮崎 宰子・宮田 誠子  
宮本 みち・向山 秀樹・村井 貞子  
村上リョウ・森 克彦・森 千恵子  
森 勉・森 紘子・森 紫珠子  
盛川 洋一・諸岡 チカ・矢野 春雄  
山口 之利・山崎 愛子・山崎 公子  
山崎 毅樹・山下 育子・山田 皐月  
山田三枝子・山村 憲・山村 吉司  
横田 望美・横山ちとせ・吉崎千代子  
吉田 友英・吉田 宏重・吉見 梓  
米谷もりの・龍 倫之助・渡辺古都江

阿部美代子・新井奈穂子・伊藤九一郎  
飯塚 育子・宇佐美三代・小川 和代  
江田登茂治・海老原健介・大貫 淳  
小侯 晃・加藤奈津子・上岡 謙夫  
上岡 正子・斉藤 眞・斉藤 恭央  
斉藤八重子・坂井 順子・佐藤 明子  
鈴木 康之・清宮 祥子・関根 千文  
関根 千鶴・佐々木浩子・瀬野 国男  
高橋 孝彦・中里由里枝・西原 憲二  
野見山捷昭・長谷川敬恭・濱中知恵子  
平井裕見子・前畑 安宏・真瀬きよみ  
松岡 秀夫・松尾 賢二・松本 誓子  
水村 静江・宮下 一秀・守田 洋  
森田 恵子・山崎 恵子・山田耕一郎  
吉川 芳登・若島サカエ・和田 恵子

社会福祉法人鶴風会・東京小児療  
育病院・みどり愛育園へご寄付者  
ご芳名(法人・団体・個人)  
平成十九年五月〜平成十九年十一月  
54名(五十音順・敬称略)

(株)エクセルサービス

(社)立川青年会議所・武蔵村山委員会

社団法人日本女医会 東京都支部連合会

南観光交通(株)・(株)幸和義肢研究所

もえぎ保護者有志一同

東京小児療育病院みどり愛育園父母の

会・父母後援会